

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

宮崎県知事 殿

提出者



住所 宮崎県都城市都北町5070番地

氏名 株式会社九南

代表取締役 黒川 浩之

電話番号 0986-27-5600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社九南 都城本社 他
事業場の所在地	宮崎県都城市都北町5070番地 他
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高（前年度実績概算） 9,540 百万円
③ 従業員数	424名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類→中間処理委託(破碎)→再資源化(再生クラッシュラン、再生アスコン、再生骨材、再生路盤材) →最終処分委託(安定型埋立) ・金属くず→中間処理委託(破碎、選別)→再資源化(製鋼原料) →最終処分(安定型埋立) ・廃プラスチック類→中間処理委託(破碎)→再資源化(セメント材) →最終処分(安定型埋立) ・木屑→中間処理委託(破碎)→再資源化(燃料) →中間処理委託(焼却)→最終処分(安定型埋立) ・ガラス屑、陶磁器屑→中間処理委託(破碎)→再資源化(再生路盤材) →最終処分(安定型埋立) ・建設系混合廃棄物→最終処分(安定型埋立) ・紙くず、繊維くず→中間処理委託(焼却)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総務部—各工事部業務課—各現場代理人

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各工事箇所において産業廃棄物毎にコンテナで分別または区画ネット等で区画を行い、産業廃棄物の種類を明示し混在しないようようにした。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・搬入路復旧工事の仕様を再確認するとともに、施工状況を各工事現場毎に担当者が巡回点検する。不備がある場合は改善するよう再指導する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) —	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) —	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】									
産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木屑	ガラス・陶磁器屑	建設系混合廃棄物	紙くず・繊維くず	廃油	
排出量	725 t	46 t	181 t	95 t	40 t	59 t	2 t	1 t	
①現状	(これまでに実施した取組) ・設計段階から廃棄物の削減を考慮し、資材発注前の在庫確認を徹底して取り組んだ ・撤去工事による産業廃棄物が増加した								
	【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木屑	ガラス・陶磁器屑	建設系混合廃棄物	紙くず・繊維くず	廃油	
排出量	720 t	40 t	150 t	90 t	40 t	55 t	2 t	1 t	
②計画	(今後実施する予定の取組) ・今年度の概算数量予定は昨年度同等である ・設計段階から廃棄物の削減を考慮する								

(第4面)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】							
産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木屑	ガラス・陶磁器屑	建設系混合廃棄物	紙くず・繊維くず	廃油	
全処理委託量	725 t	46 t	181 t	95 t	40 t	59 t	2 t	1 t	
優良認定処理業者への処理委託量	- t	3 t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
再生利用者への処理委託量	405 t	6 t	16 t	89 t	8 t	0 t	1 t	1 t	
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
①現状		<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木屑、紙くず、廃油は、ほぼ全数量中間処理委託し再生利用を行った ・がれき類は、半数以上を中間処理委託し再生利用を行った ・その他の産業廃棄物についても、可能な分中間処理を委託し処分を行っている 							

(第5面)

		【目標】							
産業廃棄物の種類	がれき類	金属くず	廃プラスチック類	木屑	ガラス・陶磁器屑	建設系混合廃棄物	紙くず・繊維くず	廃油	
全処理委託量	720 t	40 t	150 t	90 t	40 t	55 t	2 t	1 t	
優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
再生利用者への処理委託量	450 t	25 t	20 t	90 t	15 t	0 t	2 t	1 t	
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	- t	
②計画		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用者へ中間処理委託するよう努める ・やむを得ない場合のみ埋立処理を委託する ・適切な処理委託によりリサイクル率向上を図る 							